

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	くめんたるーむ		
○保護者評価実施期間	2025年2月20日		2025年3月15日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	31	(回答者数) 25
○従業者評価実施期間	2025年2月25日		2025年3月10日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	2025年3月26日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	医療機関と連携しているため、心理検査などの内容や実施方法、投薬の種類などについて知識を得たスタッフがいること。医療機関につながりやすいこと	クリニックとの合同での研修や情報共有の場を設けている	クリニックとの合同の研修や情報共有の場を定期開催し、より密に連携をはかることができるようにする
2	近隣に幼稚園・保育所が多いことで、連携を図りやすい位置関係にある	定期的に無料のセミナーなどのお知らせを配布し、支援のきっかけを作っている	利用者の通う幼稚園・保育所をきっかけにし、どんな取り組みをしているかを知ってもらうためのイベントを開催する
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	駅から遠く、保護者が送迎しづらい	送迎する区域の制限 駅からは遠く、バスも本数が少ない	送迎の仕方の方法や提携の駐車場を備えるなどを今後検討していきたい
2	未就学児対象の施設であり、就学後の支援ができないこと	児童発達支援のみの実施であることからの体制から、就学後の支援ができないこと	就学に向けての移行支援を丁寧に行う。 児童発達支援事業だけでなく、保育所等訪問支援や放課後等デイサービス事業などを進め、就学後の支援方法を得る
3	全体での振り返りの機会の充実	利用者の増加に伴って振り返りの時間の取り方が従来では難しくなっている。 人員体制の基準は満たしているものの、人手不足	人員増員を図る。 振り返りの機会をとりつつ、ツールの導入などスムーズな情報共有の方法を取り入れる